



本製品は Defi-Link ADVANCE System(デフィーリンクアドバンスシステム)の補修パーツです。本製品だけでは作動しません。本製品をご使用の際は必ずデフィーリンクアドバンスシステムの取扱説明書も合わせてお読みください。

本製品は車両情報を表示するメーターにセンサー信号を供給するセンサー、センサーハーネス及びアタッチメントや付属品です。本製品お取り付けの前にデフィーリンクアドバンスシステムの取扱説明書の安全、取り付け、取り扱いに関するご注意、及び取り付けの車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、本製品(及び本製品の取り付けられている車)を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、本取付説明書ならびに保証書も必ずお渡しください。

ラインナップ(お客様へ)

機種名	型番	構成部品
ターボセンサーセット	PDF07806SS	ターボセンサー、ターボセンサーハーネス(2.5m)、スリーウェイジョイント、ゴムホース(0.5m)
油圧センサーセット	PDF08106SS	圧力センサー、油圧センサーハーネス(3m)
燃圧センサーセット	PDF08205SS	圧力センサー、燃圧センサーハーネス(2.5m)
油温センサーセット	PDF08305SS	温度センサー、油温センサーハーネス(3m)
水温センサーセット	PDF08405SS	温度センサー、水温センサーハーネス(3m)
排気温度センサーセット	PDF08505SS	排気温度センサー、排気温度センサーハーネス(2.5m)、フィッティング

※インターカムニホールドプレッシャー用にはターボセンサーセットをお買い求めください。

安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

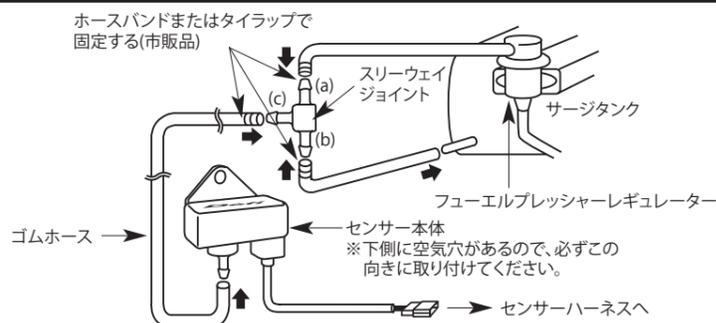
本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていたいただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていたきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

注意 (警告を含む)を示さなければならない記号です。
禁止 は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
強制 は、行為を指示する記号です。(必ず行っていたください。)

■ターボセンサーセット取り付け(市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



- 1) センサーを付属のゴムホースができるだけ短くなるように、エンジンルーム内(振動、熱のない場所)にボルト(M6)などで固定します。
- 2) 吸気圧は、サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間から取ります。
(A) 脈動の少ないサージタンク側のバキュームホースを外し、スリーウェイジョイント(b)または(a)と接続します。
(B) サージタンクとスリーウェイジョイント(a)または(b)をつなぐのに必要な長さを、付属のゴムホースより切って使います。(付属のゴムホースがサージタンクの径と合わない場合は、バキュームホースを途中で切断してご使用ください。)
(C) 残った付属のゴムホースで、センサーとスリーウェイジョイント(c)を接続します。

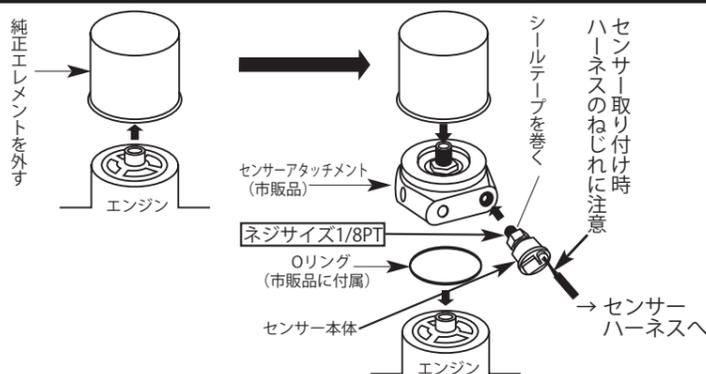
警告

- 1) 配管する際は、ゴムホースが抜けないように、接続部分を市販のホースバンドまたはタイラップで固定してください。ゴムホースよりエアが漏れたり、ゴムホースが抜けたまま走行するとエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

確認

- 1) 付属のゴムホースの長さは0.5mなので、その範囲で調整してください。
- 2) サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間の配管が内径φ4でない場合は付属のスリーウェイジョイントが使用できませんので車両に合ったスリーウェイジョイントを別途ご用意ください。
- 3) センサーは、付属のゴムホースとの接続部分が確実に下向きになる様に取り付けてください。
- 4) サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーターの間にはソレノイドバルブがある車種は、ソレノイドよりサージタンク側にスリーウェイジョイントを付けてください。

■油圧センサーセット取り付け(市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



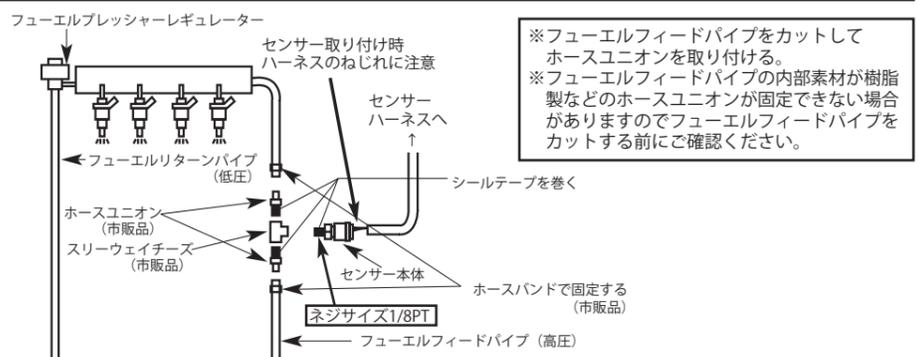
警告

- 1) センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- 2) 取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートの恐れがあります。
- 3) センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 4) センサーはオイルポンプの近くには取り付けしないでください。また、プレッシャースイッチに直付けしないでください。いずれの場合も圧力の脈動が大きく、瞬間的にフルスケールの3倍を超える為、センサーに悪影響を与える危険があります。
- 5) センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- 1) センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- 2) 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

■燃圧センサーセット取り付け(市販品1/8PTスリーウェイチース、市販品1/8PTホースユニオンを使用)



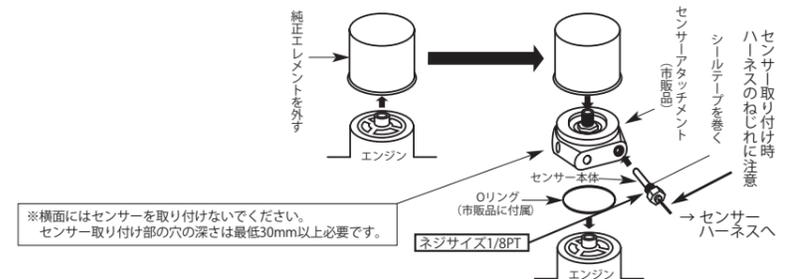
警告

- 1) センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- 2) フューエルフィードパイプを切断する前に、必ず給油口を開けて、フューエルタンク内の圧力を下げてください。燃料が吹き出す恐れがあり、大変危険です。
- 3) フューエルフィードパイプを切断する際は必ず除電して作業を行ってください。燃料に引火する恐れがあり大変危険です。
- 4) フューエルフィードパイプを切断する際は、燃料から目を保護するため、保護メガネを着用して作業を行ってください。センサーは、燃料漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、市販のホースユニオンとフューエルフィードパイプを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずパイプやホースユニオンに燃料漏れがないか点検してください。燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり、大変危険です。
- 5) センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- 1) センサーは必ず、フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーター間のフィード(高圧)パイプ側に取り付けてください。※フューエルプレッシャーレギュレーター後のリターン(低圧)パイプ側では、正確な燃圧をとることが出来ません。
- 2) センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのホースユニオンとスリーウェイチースをご使用ください。
- 3) 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

■油温センサーセット取り付け(市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



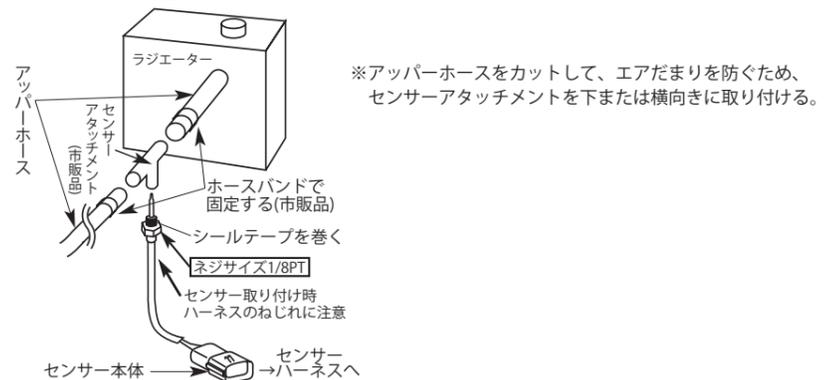
警告

- 1) センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- 2) 取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートの恐れがあります。
- 3) センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 4) センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- 1) センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- 2) センサー取り付け部の穴の深さは最低30mm以上確保してください。
- 3) 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

■水温センサーセット取り付け(市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



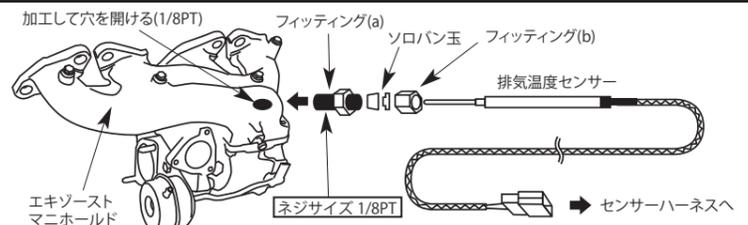
警告

- 1) センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- 2) 取り付け作業によって、抜けた分の冷却水は必ず補充し、エア抜きを行ってください。冷却水が少ないとエンジンオーバーヒートの恐れがあります。
- 3) センサー取り付け作業を行う際は、水漏れをおこさないようシールテープを巻き、市販のセンサーアタッチメントとアッパーホースを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずホースやセンサーアタッチメントに水漏れがないか点検してください。水が漏れたまま走行すると、エンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 4) センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- 1) センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- 2) 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

■排気温度センサーセット取り付け



- 1) エキゾーストマニホールドに1/8PTのネジ穴を開けます。(肉厚が薄い場合は溶接)
- 2) フィッティングをばらします。中のソロバン玉を紛失しないよう注意してください。
- 3) フィッティング(a)をエキゾーストマニホールドの穴を開けた場所に取り付けます。
- 4) フィッティング(b)とソロバン玉にセンサーを通します。
- 5) センサーの先端をフィッティング(a)に挿し込みます。このときセンサーの先端部分がエキゾーストパイプなどの内径の中心へ来るように調整してください。
- 6) フィッティング(b)を締めます。

警告

- 1) エンジンが熱いときに取り付けを行わないでください。ケガをする恐れがあります。
- 2) センサーを取り付ける際は、エキゾーストパイプや過給機などの中に切削屑などを残さないでください。エキゾーストパイプや過給機、エンジンの破損を引き起こす恐れがあり大変危険です。

確認

- 1) フィッティングのネジサイズは1/8PTです。1/8PTのタップでネジ山を刻んでください。
- 2) 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。